

# 東伊豆町のことを 知りたくなった その日から読む本



静岡県東伊豆町移住サポートBOOK

はじめまして！！

この本を手に取っていただいたあなたは、少なからず東伊豆町に興味があると信じてご案内をしていきます！

プラス面もマイナス面も包み隠さずお話することをお約束します。そしてこの本を読み終わった後に「東伊豆が気になる！」と思っていたらすぐ"にメールなり電話なりでご連絡ください。もしくは東京にある「“ふじのくにに住みかえる” 静岡県移住相談センター」の優しい相談員さんにご相談ください。

いつでも東伊豆町は皆さんのお越しをお待ちしています。

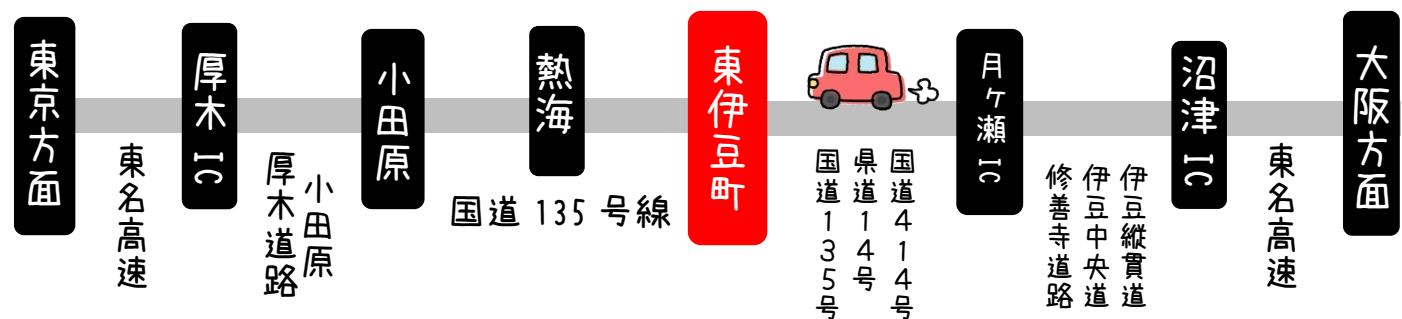
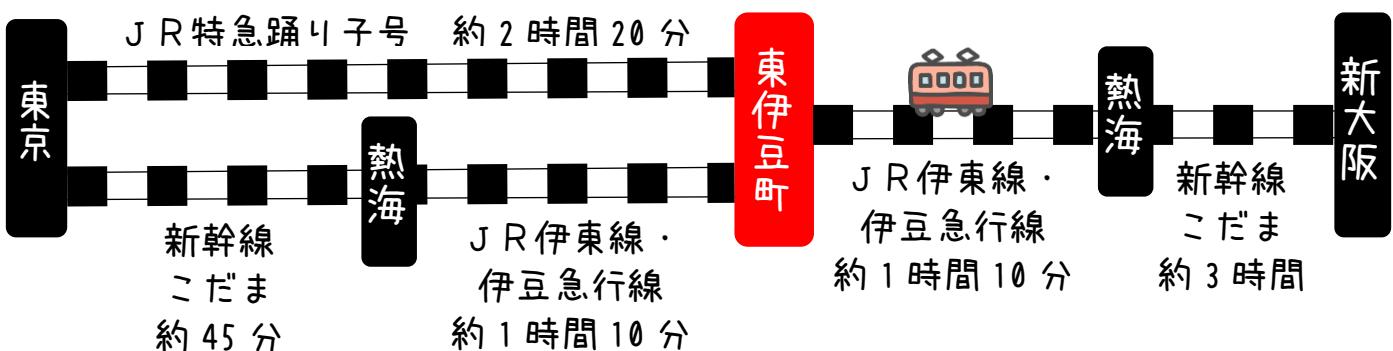
## 東伊豆町ってどんなところ？

東伊豆町は、伊豆半島東海岸中央に位置し、観光を基幹産業として、豊富な温泉からなる6つの温泉郷で形成されている人口約11,500人のほどどの町です。コロナ前は年間70万人の観光宿泊客が訪れ、山と海に囲まれた自然豊かな町を満喫しています。年間を通じて気候も温暖で過ごしやすく、首都圏からも比較的近いことから日帰り旅行も人気があります。



東伊豆町

### アクセス



約3時間

約6時間

# 東伊豆町の地区

**大川地区** 人口：約700人 世帯数：約360世帯

東伊豆町の玄関口。とても静かで田舎らしい地区です。  
大きな地区ではないですが、産みたて玉子の自販機などもあります。  
全体的に坂道地形です。

店舗：コンビニ、ワサビ屋さん、菓子屋さん



**北川地区** 人口：約200人 世帯数：約120世帯

東伊豆町で1番小さな地区。  
昔ながらの漁村のような地区です。海沿いにはホテル旅館も並んでいます。小さな地区だからこそ住民の絆は強く、みんなが顔なじみな集落です。

店舗：個人商店



**奈良本地区** 人口：約2,900人 世帯数：約1,600世帯

国道から下が温泉街、上が住宅街という地区です。  
図書館もあり、個人スーパー、商店、学校など生活範囲がまとまっています。観光客に人気の『熱川バナナワニ園』があるのもこの地区です。  
店舗：スーパー、コンビニ、肉屋さん、魚屋さん 他



**片瀬地区** 人口：約1,000人 世帯数：約600世帯

白田川の伊東市側の地域で、地区全体が比較的平らであり、自転車などでも生活できます。

区画整理をされている区域が多く、地区全体が広く感じます。

店舗：スーパー、魚屋さん



**白田地区** 人口：約1,300人 世帯数：約700世帯

白田川の下田市側の地域で、なだらかな地形で静かで落ち着いた地区です。海側の地域と山側の地域では特性がまったく異なります。

店舗：コンビニ



**稻取地区** 人口：約5,500人 世帯数：約2,700世帯

東伊豆町で1番大きな地区。

役場や大型スーパー、銀行などあり生活にはとても便利ですが、坂道が比較的多い地区です。特に国道より上の地域はほとんど坂道に面しています。

店舗：スーパー、コンビニ、魚屋さん、肉屋さん 他



# 東伊豆町の生活環境

## 買い物

大型スーパーの「マックスバリュ」が稻取にあります。その他のスーパーが3店舗ある他、各種小売店もあります。

大型量販店は車で約30分圏内の近隣市町にあります。

- ・スーパーマーケット4店舗（稻取1、片瀬1、奈良本2）
- ・ドラッグストア2店舗（稻取2）
- ・コンビニエンスストア5店舗（稻取2、白田1、奈良本1、大川1）

その他町内に地場産品直売所などあり。

## 病院

町内に総合病院や医療機関があります。対応困難な救急や専門性の高い疾患については、ドクターへりなどで町外搬送を行っています。

- ・伊豆東部病院（稻取）・熱川温泉病院（白田）
- ・豊寿園温泉病院（奈良本）
- ・熱川クリニック（片瀬）
- ・なかむら医院（奈良本）
- ・太田整形外科（白田）



## 周辺の主な病院

- ・伊豆今井浜病院（河津町）
- ・かわづクリニック（河津町・小児科等）
- ・伊東市民病院（伊東市）
- ・やまもファミリークリニック（伊東市・小児科等）
- ・順天堂大学医学部付属静岡病院（伊豆の国市）

☆その他、歯科、眼科あり。

病院独自で送迎をしているところもあり。

## 公共交通

電車…伊豆急行線。最寄りの新幹線駅「熱海駅」まで約1時間10分。

バス…東海バス、東伊豆町自主運行バス

本数があまり多くないので時刻表の確認が必須。

# 東伊豆町の人々

東伊豆との「ご縁」がつながるウェブメディア『東伊豆通信』は、東伊豆町に住む人の“暮らし”にフォーカスしたウェブマガジンです。

自然に恵まれた東伊豆町とその土地に暮らす人々との間に生まれた物語を取材しながら町の魅力に迫ります。

多種多様な方に取材していますので、東伊豆町での暮らしをイメージすることができます。暮らしに紐づく様々なシーンでご覧いただけたら幸いです。



東伊豆町民インタビューNO.49 伊藤紗津樹さん



東伊豆町民インタビューNO.48 福田将人さん



東伊豆町民インタビューNO.47 不破花奈実さん



東伊豆町民インタビューNO.46 荒武悠衣さん



東伊豆町民インタビューNO.45 星野海輝さん



東伊豆町民インタビューNO.44 石田瑛也さん

# 東伊豆町の住まい



最近はインターネットでも情報を手に入れることができるようにになってきました。ただ、一軒家については市場に出ていないものが多く、地元の人も知人に紹介してもらい探す方がほとんどです。まずは賃貸のアパートに住みながら知り合った方を通して家を探す方が多いです。

また、まちから離れた見晴らしのいい物件は、公共交通が確保できない場合があります。特に熟年の方の移住は、買物・医療など先のことも考えて住む場所を選びましょう。

東伊豆町のアパート相場 3万円～

賃貸一軒家相場 5万円～

賃料の安い物件はありますが、築年数が古い物件がほとんどで築40年～50年の物件も多いです。築年数が古くても内装はリフォーム済である物件もあります。

## 空き家バンク制度

空き家バンクとは、空き家の売買・賃貸を希望する所有者から申込をうけた物件情報を町のホームページなどで公開し、移住等を希望する方に情報提供を行うシステムです。なお、契約交渉は町と提携を結んでいる宅建業者と行います。

物件の情報は東伊豆町ホームページからご覧いただけます。

## 空き家活用支援制度

空き家バンクに登録されている物件を取得又は賃借する利用者に対して、改修費用の一部及び取得費、家賃の一部を補助する制度です。

### 【補助対象者】

- 新規に転入した方で、登録物件の住所に住民登録した方
- 5年以上その物件に居住する方
- 1年内に町から転出していない方
- 町税等の滞納がない方



### 【補助金額】

**改修費補助** 工事金額100万円以上の場合 20万円（限度額）

10万円以上100万円未満の場合 工事金額の20%

**住宅取得費補助** 取得対価の3%以内 30万円（限度額）

**家賃補助** 家賃の1/2補助 3万円を限度に3ヶ月分

## 結婚新生活支援補助金

新婚世帯に対して、住居費、引越費用及びリフォーム費用の一部を補助します。  
※条件については町ホームページをご覧ください。

### 【補助額】

夫婦いずれかの年齢の高い方が29歳以下の世帯 最大60万円  
39歳以下の世帯 最大30万円

## 若者定住住宅取得補助金

若者夫婦世帯の住宅取得の支援による定住の促進を図るため、移住を機に住宅を取得する若者夫婦世帯に対し、補助金を交付します。

### 【対象者】

- ・夫、妻ともに40歳未満の夫婦で、移住後1年未満若しくは取得を機に移住する世帯
- ・移住を機に住宅を新築又は購入する世帯
- ・従前住所地等において住民税等の滞納がない世帯

### 【補助額】

全世帯一律30万円

(加算) 町内業者を利用して新築した場合 10万円

中学生以下の子どもがいる場合 1人につき10万円(上限30万円)

## 住宅リフォーム振興事業補助金

### 【条件】

- ・町内に住所を有する方で町内に所有する個人住宅又は併用住宅の居住部分の改修を行うこと
- ・町内施工業者によって工事を行うこと

### 【補助額】

100万円以上の工事 20万円

5万円以上100万円未満の工事 工事金額の20%の額

担当のひとりごと。

『家庭菜園が出来るくらいの小さなものでいいので畑がついた家がいいんです！！』  
こんな相談されることって結構多いんですが、実はこれほど難しい話はないです(^-^);  
なのでオススメしているのが《市民農園》です。

東伊豆町の市民農園は高台にあって海がよく見えます！

農機具もすべて用意されているので、苗と肥料さえ買ってくればすぐに始められます。そして管理人もいるのでわからないことはなんでも教えてもらえるんです。

初心者でも安心！ 40㎡で年間22,440円から。ぜひホームページでご確認ください！

# 東伊豆町のしごと

## お勤めしたい！！

東伊豆町の仕事で1番多いのは、「観光関係」です。ホテル、旅館、観光施設などで働く求人が年間を通して多く出ています。その他、建設業や介護・福祉職も多くなっています。

### 【ホテル・旅館だと】

フロント業務、レストランスタッフ、清掃スタッフ、接客スタッフなど

### 【建設業だと】

土木作業員、現場補助スタッフ、造園スタッフなど

### 【介護・福祉職だと】

病院勤務、介護事業所勤務、デイサービスなど

ふるさと回帰支援センターの就職相談員さんに相談したり、管轄のハローワークのHPで確認してみるのがオススメです。

たまたま地元の人と話をしていたら見つかったという人も！

商工会に問い合わせても掘り出し情報が見つかるかも！！

## 起業をしたい！！

東伊豆町で起業する場合、「東伊豆町創業支援事業補助金」を受けられる場合があります。

また、空き店舗を利用して起業する方へ店舗改修費用の補助も行っています。

また、東伊豆町商工会では、開業計画作成や創業支援の斡旋など経営に関する相談も受け付けています。

○創業支援事業補助金について 東伊豆町観光産業課 0557-95-6301

○空き店舗改修、経営相談 東伊豆町商工会 0557-95-2167

## 農業をしたい！！

隨時、町において新規就農相談を受け付けています。各関係機関（町、県、農協など）が連携をして支援のご提案を行います。

○東伊豆町観光産業課 0557-95-6306

## 地域おこし協力隊



東伊豆町では多くの地域おこし協力隊が活躍してきました。そしてほとんどの協力隊が卒業後、町内に定住しています。

平成28年度以降ほぼ毎年採用しており、その任務も様々です。

自分の力を試してみたいあなた！地域の中に入って活動してみたいあなた！東伊豆町に力を貸してくれるあなた！ぜひ地域おこし協力隊になりませんか？

例年10月頃から次年度採用の募集開始となります、急遽募集をかけることもあります。

興味がある方はホームページをチェックしていただきたり、直接お問い合わせください。



## 東伊豆町移住・就業支援金

東京圏から東伊豆町に移住して、就業または起業等した方に対し支援金を支給します。

### 【移住元・先での要件】

- ・移住する直前の10年間のうち通算5年以上、かつ移住する直前に連続して1年以上、「東京23区に在住していたこと」若しくは「東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内へ通勤していたこと」
- ・平成31年4月以降に東伊豆町に転入し、5年以上継続して居住すること

☆その他に【就業の要件】、【起業の要件】、【専門人材に関する要件】、【テレワークに関する要件】、【関係人口に関する要件】があります。詳しくは町ホームページからご確認ください。



# ワーケーション



EAST DOCK (稲取)



けやき公園きばうの館 (奈良本)

## 『東伊豆は最高のネイチャーオフィスだ！！』

オンライン会議、リモートワークなどが日常化し、必ずしもビルの中がオフィスではなくなってきています。カフェやシェアオフィス、自宅がオフィスになる中で、気分で、目的に合わせて、効果的に場所を選ぶことが仕事の質・スピード・事業の発展に直結する時代かもしれません。

そんな中、東伊豆町ではまちを“まるごと”オフィスにする事業を行っています。山の中のデスク、海が見えるミーティングルーム、おなかが空いたら社食代わりに地元の飲食店で美味しいランチ。夜には社宅のように温泉旅館に泊まったり、仲間と共に夜遅くまで語らう。今までではビルの中の廊下を移動していたのが、ワクワクする路地裏探検に早変わり！まちをまるごとオフィスにすることで新しい人の交流が生まれ、ローカルビジネスが動き出す。満員電車での通勤はありません！そんなたくさんのワクワクを東伊豆町で体験しませんか。



自然の中で仕事をしていると、ビックリするくらい仕事が捲るんです！！

シェアオフィスの他の利用者さんとお昼ごはんや夜ごはんを作って食べながらいろんな話をしています。新しい出会いもあって楽しいです！



# 子育て施策

## 子ども医療費助成制度

子どもが病気や怪我等により医療機関を受診した場合の医療費を助成します。

(対象者)

東伊豆町に住所がある満18歳に到達後最初の3/31までの間の子



## 産後ケア事業

産後4ヶ月未満の母親と子どもに対し、医療機関等において母親の心身のケアや、授乳指導・育児相談等を宿泊型、日帰り型で実施します

## こども未来支援制度

不妊治療又は不育症治療を受ける夫婦に対し、その治療に要する経費の一部を助成



## 産前産後サポート事業

助産師による個別相談や訪問により、産前産後に係る相談、授乳や乳房ケア等について相談支援を行います

## 子育て用具購入費補助制度

チャイルドシート、ベビーカーの購入費の1/2を補助(上限)

チャイルドシート 10,000円

ベビーカー 20,000円



## 東伊豆町ファミリー・サポート・センター

仕事や諸事情で子どもの面倒を見ることができないとき、時間単位であります。

## ひとり親家庭等子どもの学習支援事業

ひとり親家庭で、家に帰宅しても面倒を見る人がいない子どもを対象に、学習支援及び生活習慣の習得を目的に年間20回実施

## 子宝祝金制度

出生手続き後、父母に対して給付金を交付

第1子 50,000円

第2子 100,000円

第3子 200,000円

第4子以降 300,000円



## 保育ママ制度

3歳未満の保育に欠ける乳幼児を対象に、家庭的保育者(保育ママ)の自宅など家庭的な環境の中で乳幼児を預かります。

## リトルキッズ すくすくサークル 育児サークル

遊びを通じ、発達の促しとあそさんへの関わり方を一緒に考える教室です。幼児食や離乳食の教室もあります。

東伊豆町には現在、こども園1、認可外保育園1、幼稚園2(R5.4統合予定)、小学校2、中学校2があります。

年々子どもの数が減少していることもあります。小学校や中学校でも統合の検討が進められています。

# お試し移住体験施設ってどんなところ？



移住って人付き合いが不安・・・地域に溶け込めるかな。  
実際に町を見てみたいけど滞在費がかさむのもな。  
どうせ行くなら住民の方と触れ合ってみたいな。

## 「安心してください！！試せますよ！！」

東伊豆町ではお試し移住体験施設を用途に合わせて2種類用意しています。



東伊豆町企画調整課長 森田

### 短期型

築100年以上の風情ある古民家で田舎暮らしを体験！！

|      |   |
|------|---|
| 設備   | キッチン、風呂、トイレ（ウォシュレット付）、洗濯機、テレビ、エアコン、Wi-Fi 完備     |
| 生活用具 | 布団、食器など必要最低限のものはあります<br>衛生用品（タオル、シャンプー類等はありません） |
| 利用期間 | 5日間～31日間  |
| 料金   | 1人につき1日1,500円（小学生以下は無料）                         |
| 利用申請 | 希望日の3か月前の1日（閉店日の場合は翌開店日）から電話にて仮予約受付             |



# 長期型

町内の空き家を利用したお試し移住体験住宅です。

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 設備   | キッチン、風呂、トイレ、洗濯機、テレビ、Wi-Fi 完備 |
| 生活用具 | 布団や衛生用品の用意はありません<br>食器類はあります |
| 利用期間 | 1ヶ月～6ヶ月（月単位）                 |
| 料金   | 建物によって異なる（大体5万円～/月）光熱水費込み    |
| 利用申請 | 電話にて仮予約受付<br>空き状況は随時町HPにて更新  |

★長期お試し移住体験施設は気に入ればそのまま継続して賃貸または売買することができます。

（継続して居住する場合は直接所有者と契約をしていただきます。また、備え付けの家電等は撤収させていただきます。）



ご利用中、町内のご案内もいたしますので  
お気軽に問い合わせください。



予約状況はこちら



千守 泰貴 さん (34)

前住地：埼玉県

職業：小学校教諭

住居：大川地区

家族：妻、子ども2人

2021年に家族で埼玉県から移住。海が好きで、マリンスポーツから海釣りまで、海のアクティビティが趣味。今一番楽しいことは海釣りで、「先生たちには内緒で仕事終わりに20分弱毎日釣りに行ってます。」とインタビューでもにこやかに語ってくれました。

### 東伊豆町への移住のきっかけはなんですか？

幼少期、家族旅行で毎年伊豆を訪れていたのがきっかけです。伊豆は楽しい思い出のある場所で憧れの場所でした。

埼玉県で教員になり、家庭を持ちましたが、そこはあくまで仕事の場所という感覚が強く、自分たちの本当に暮らしたい場所で子育てをしていきたいという気持ちがあって、東伊豆町にやってきました。自然との距離感が程よく、地域住民と関わりが多いことが魅力的でした。

### 田舎特有なのかもしれません、東伊豆町は地域住民とのかかわりは多いですよね。

そうなんですね。実は移住前から東伊豆町の別荘地の物件を買っていたので、埼玉県に住んでいる頃から定期的に東伊豆町に通っていました。別荘地内の住民との関わりも多く、地区的ワサビ屋さんやお菓子屋さんによく声をかけてもらったりもしていました。そんな経験があったので、よその人にも親身に話をしてくれる地元の人たちを知っていて移住もしやすかったです。

### 移住地の候補として伊豆の中でもなぜ東伊豆町を選びましたか？

熱海や伊東のほうが東京からは近いっていうのはあったんですけど、どうせ住むなら南に近い方がいいと思いました。西伊豆も好きで旅行でよく行っていたんですけど、伊豆急が通っている交通の便の良さが今後の暮らしのために必要と考えました。

東伊豆町は、自然が豊かで、暮らしていくには十分なお店もある。要は町の規模、利便性、自然との距離のバランスが良かったです。





## 家を買うきっかけはなにがありましたか？

きっかけは、結婚でした。夫婦共々出身が東伊豆町ではないため、子供が生まれたとき、共働きをしていくのが非常に難しいですけど、必ずといっていいほどどちらかの実家の近くに住んでいて、子供が熱を出したらおばあちゃんが来てくれたりとか、送り迎えしてくれたりとかができるんです。それがない状況を先に想定したときに、共働きは非現実的だと思いました。どちらかが仕事を辞めるか、どちらかの実家の近くに引っ越すかも考えたんですが、やっぱり自分たちの憧れる地で暮らしたいという気持ちが大きかったです。物価的にも地価の関係で東伊豆だと一馬力でもローンを返せるというのがありました。生活の水準を考えたときに、こちらで贅沢でなくても一馬力でやっていった方が家族としても精神的なゆとりがあるので、結婚を機に将来的な移住を決意、家を買いました。

## 移住後の暮らしでよかったですことはありますか？

来てみてよかったですことは、子供が社交的になったことですね。

上の子は引っ越し思案だったけど、深く関わる大人たちが増えたので心を開くようになり、下の子は元気いっぱい野生児のように、物怖じしなくなって、いろんなことに挑戦しています。

埼玉では休日にはイオンに行くしかなかった生活が、学校や家の近所の人たちとのつながりで交流を楽しむこともできるようになりました。

幼稚園のママ友の方たちやそのつながりでパパ友に釣りを教えてもらったりできて楽しくてしょうがないですね。来てよかったですなという思いがたくさんあります。

## 移住するうえで町の制度は使いましたか？

40歳以下の世帯向けの住宅購入に対する補助金を頂きました。基本30万円で、子供1人につき10万円という内容でした。

それは家の修繕など、生活を整えるために使い、助けていただきました。

たまたま役場の企画調整課に行って移住の相談をしたら、いろんなことを教えていただきました。お世話になった役場の方が自分の地区の方を紹介してくださいました、役場との距離感もすごく近いと感じました。もともと住んでいた場所は出生届を出すのに1時間待ったりしていたので、東伊豆町の役場の親身な対応は当時の自分からするとすごくありがたかったです。

東伊豆町の役場は対応も早いですし、移住者にも親身になってくれて、来る者を受け入れてくださる雰囲気を感じました。

## 今移住を考えている方に伝えたいことはありますか？

住み慣れた場所から移住をするには、大きな決断力が必要だと思います。しかし、移住への一歩を踏み出すことで、素晴らしい毎日を送れるようになるかもしれません。東伊豆町のように地方は今、都会からの移住者を受け入れてくれる体制が整っています。子育てや趣味など、東伊豆町での暮らしに少しでも関心をお持ちであれば、迷わず移住を決断してみてはいかがでしょうか。きっと、私たち家族のように移住してよかったですと日々感じながら生活することができます。



佐藤 太知 さん (38)

前住地：海外

職業：農家

住居：片瀬地区

家族：妻、子ども 2人

大学進学を機に関東へ移り、卒業後そのまま関東圏で就職。機械設計の会社やイベント会社に勤めた後、ライフスタイルを見直すためにオーストラリア・ニュージーランドでワーキングホリデーをする。そこで農業に出会い、帰国後東伊豆町のキウイと柑橘農園に後継者として弟子入りし、農園を継ぐ。趣味は音楽とアウトドア。

佐藤さんは移住してどれくらいになりますか？

今年の6月で移住して5年になります。独立してから完全に住居を東伊豆町に移しました。移住するまでの研修期間2年間は、実家の西伊豆から通っていました。

キウイ農家を志したきっかけは何でしたか。もともと農業の経験等はありましたか？

もともとは東京でサラリーマンをしていたので農業の経験はありませんでした。オーストラリアで野菜、オレンジの栽培をする農園で働きましたが、当時の動機はビザを延長するためでした。オーストラリアでのワーホリを終えた後は、隣のニュージーランドでワーホリをしました。ここでオーストラリア時代の友人の紹介でキウイ農園を紹介していただき、初めてキウイ農園で働くことになりました。そのキウイ農園での仕事がとても楽しかったんです。いろんな民族の人達と一緒に働く環境で、みんな歌を歌いながら働いていて、その光景がとても印象的でした。ニュージーランドでの日々がとても楽しく日本に帰国してもキウイ農園をやりたいと思うようになりました。



なぜ東伊豆町のキウイ農家を継ぐことになったのでしょうか？お師匠さんとはどういう風に出会ったんですか？

最初はネットでキウイ農家を見つけて弟子入りしようとした。一番上に出てきたのがキウイフルーツカントリージャパン。たまたま静岡県内だったため、すぐに訪問し、そこで園主さんに相談をしたところ、園主さんの師匠がいる東伊豆町のキウイと柑橘の農園を紹介してくださいました。師匠は後継者を探していたため、賀茂農林事務所に連絡をし、後継者として研修を受けることになりました。キウイ農家を探していたときは日本全国どこでも良いと思っていたのですが、たまたま紹介いただいたのが東伊豆町だったんです（笑）師匠の下で2年ほど研修を受け、師匠のキウイ園を引き継いで独立するタイミングで東伊豆町に引っ越しました。

佐藤さんは地元が西伊豆で東伊豆町からそう遠くはないのですが、移住して変わったことはありましたか？

東伊豆町での移住生活と、地元西伊豆での生活はそこまで変化がなかったのが正直な感想です（笑）でも、自分にとってはそれが良く、変化がないからこそ地域になじみやすかったと思います。あとは移住してから、農家仲間や地域住民との交流が増えました。特に農家仲間は意外にも同世代が多く、みんな仲が良く楽しいです。

今、移住を検討している方に一言お願いします。

東伊豆にきて色々な体験をしてみてください。農業体験をしたり、細野高原でご飯を食べたり、海で釣りをしたりなど楽しいことがたくさんあります。ひとまず遊びに来てみてはどうでしょうか？

佐藤さんの農園では、様々な方がお手伝いをしています。  
二拠点居住者さんも東伊豆町に来た際に手伝いに来てくれたり、大学生が手伝いをしたりと多くの人が農業体験をさせていただいています。





新井 奈那 さん (26)

前居住地：東京都

職業：会社員（フルリモートワーク）

住居：稻取地区

家族：東伊豆で出会った旦那様

兵庫県西宮市出身。大学卒業後、フルリモートの会社に就職。東京でリモートワークを約1年した後、多拠点生活をする友人をきっかけに東伊豆町へ移住。趣味は華道と家庭菜園ということで立派なベランダ菜園も見せていただきました。

### 新井さんの移住のきっかけは何でしたか？

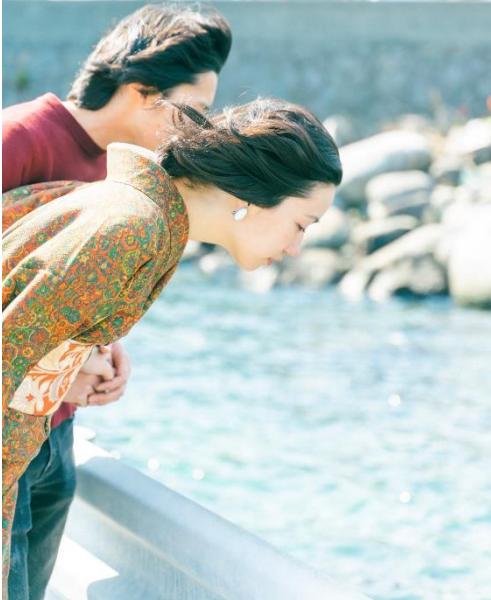
友人が多拠点生活を初めて東伊豆町稻取に拠点を持っていて、どういう暮らしをしているんだろうと興味を持ち、遊びに来たのがきっかけです。当時は次の拠点探そう、という明確な意識はなく、どっちかっていうと、のんびりした街の雰囲気を彼のインスタで見てたので、ワーケーションに興味があって遊びにきました。最初のワーケーションは、休み2日と仕事3日というスケジュールでした。友人の繋がりで、他のワーケーションをしにきた子や、町を見に来た子とかが同じ宿（錆御納戸）に泊まっていて、その人たちとも交流がありました。旅館やホテルみたいなどころで、友人以外と関わらないプライベートな滞在というよりは、他の旅行者やワーケーションの方と積極的にかかわる滞在でした。その人たちと一緒に遊んだりとか、仕事場もシェアオフィスを使ったりとか、結構ワーケーションしている人と受け入れ側の方と関われる機会があったかなと思います。

### その滞在で東伊豆を気に入って移住されたということですか？

当時自分の中では、移住ってハードルが高かったんです。たとえば東京で育ったけど、沖縄に惚れこんで仕事も環境も変えて移住した、みたいな感じで、それくらい覚悟が必要だと思っていました。正直、最初稻取に来た時に絶対住みたいと思うほど惚れ込んだわけではなかったです。ワーケーションで一定期間滞在して雰囲気がわかったりとか、自然に近い場所で仕事してみて、そこで暮らす人とも関わってみて、それを通じてその時は良いなと思った程度でした。でも、東京に帰ってから、海が恋しくなりました。あの町じゃなきゃダメという理由はなかったけど、身近な人が住んでいて、感じとかもわかっていて、好きな自然がある場所だなっていうのが良いかもしさないと具体的に思えたポイントかもしれません。移住はハードルが高いイメージはありましたけど、それを軽やかにしちゃう友人が先に住んでいたし、暮らしに興味があるっていう同世代がちょうど、その人起点で訪れていたタイミングだったので、こういう選択肢も自分の意思決定次第でとれる状況だと感じました。



## 実際暮らしてみて楽しいことや良いことはなんですか？



人間らしさが増えたこととコストが圧倒的に下がったこと、あとは食べ物がおいしいことが良いことだと思います。人間らしさっていうのは、東京で一人暮らししているよりも偶発的に人に会える機会が増え、かつ自然もあるっていう環境の中で、やれることの手段、選択肢が広がったと思います。シェアオフィスで移住仲間と何気なく世間話したりとか、お昼に海見ながらパン食べたり、前々からの約束なしで友人と夜ごはん食べたりとか、仕事終わりに星を見に行ったりとか。平日でもそういう機会が作れるようになりました。平日は自分の中では仕事の時間で、自由の制限を設けていたけど、今はその中でも自然に触れる時間があるし、ご飯を食べる以上のことができます。それはこの環境のおかげだと思います。平日は仕事をするだけで、人と話さずに終わって、食事も誰が作ったものかわからないものを食べて、味気なくて何だったんだろうと感じていたところからだいぶ変わったなと思います。

生活にかかるコストは東京にいたころと比べるとだいぶ下がりました。今は賃貸のアパートに住んでいますが、家賃は東京の半分以下です。食事面は東京にいるときよりとりうる手段が少なくて（外食とかウーバーとか）自炊しなければならない環境のおかげもあって、食費もかなり下がったと思います。あと、食べ物、特に果物がおいしいです。中でも佐藤農園のキウイは本当においしかったです。とても甘くて、キウイじゃないと思ったくらい、こんなにおいしいキウイあるんだと思いました。ただけかもしませんが、干し柿とぬき柿とともに食べたことがなくて、こんなに甘いんだと感動しました。週末には朝市があるので、新鮮な魚、野菜、お花をちゃんと地元の人々を見て買えるっていうのが良いです。お花については、正直、東京は売るのに適っていて、かわいいのとか、コンセプトがちゃんとしてるやつとか、数も各地から集めているから、そこと比べると買いやすいとは思わないんですけど、逆に売り手の意図を出してない、純粋なシーズンものとか、地元の良さとか気候がそのまま反映された状態で出てくるのは良いところです。あと朝市っていうのも売ってる人が一緒だから、お花屋さんのおじさんも覚えてくれていて、買うだけじゃなくて、全然関係ない相談事とかしてたりして（笑）、いろいろ教えてくれた挙句、おまけまでしてくれたりとかして楽しいです。

## 今一番楽しいことは？

ガーデニングとドライブです！住んでいる家が広くてベランダもあるので、最近はガーデニングを始めました！朝市で買った植物を育てるのが楽しいです。インフィニティチェアをベランダにおいて、海を見ながらお昼ご飯を吃るのがマイブームです。あとは最近、新しい車を買ったので、ドライブが楽しみです。

## 今、移住を検討している方に一言お願いします。

一度東伊豆町を訪れてみてください！今、実際に東伊豆町にいる人と話してみて、自分のテンポと合うかどうか試してみると良いと思います。





森下 佳世子 さん (53)  
前住地：東京都  
職業：飲食店経営  
住居：稻取地区  
家族：1人暮らし

東京で会社員として働き、育児に奮闘しながら約20年間伊豆への移住を夢見ていたそう。子育てがひと段落したタイミングで、伊豆への移住を決意。東伊豆町内のホテルに勤めた後、お食事処「おばあちゃんち」を開業。まるでおばあちゃんちに帰ってきたような温かみのある食堂を経営しています。趣味は、温泉、家庭料理。

森下さんは長い間伊豆に移住を夢みていたようですが、そのきっかけは何だったんでしょうか？

20年位前に北川へ旅行に来たのがきっかけです。今はなき光景のようですが、朝港で地元のおばちゃんたちが漁師さんからお魚をもらってバケツに入れて帰っていく様子がとても印象的でした。その光景に憧れて、移住を夢見ましたが、当時は東京に家があり、子供も学校に通っていたため、すぐに移住はできず、子育てが終わってからにしようと計画しました。

子育てが終わって移住計画を進めていくうえでまず最初に何から始めましたか？

子育て中もずっと移住へのアンテナは張っていたので、都内の移住支援センターの存在、移住のイベントがあるのは知っていました。そこへたまに顔を出していたので、移住を決意してから実際に移住をするまでは早かったです。移住支援センターの静岡県の担当の方とお話しし、移住者の体験談を聞いたり、職業マッチングを通して就職先を見つけることができました。

森下さんは移住先としては伊豆の中でも東伊豆町に絞ってお考えだったんですか？

伊豆には絞っていたのですが、東伊豆町で探してはなかったです。まずは寮があるところに就職して、働きながら他の地域も訪問して探そうと思っていました。いざ働いてみたら、就職先の女将さんを始め、皆さんすごくよくしてくださいさってやめられなくなってしまいました。でも自分の中では移住して1年以内には家を決めたかったので、それならホテルの近くの稻取でと思い、稻取に家を持つことにしました。

実際に移住、開業を経て、お忙しい日々を送られていると思いますが、今の暮らしはどうですか？



もともと会社員時代は、旅行大好きだったんです。ショッピング子供を連れていろんなところ行ってたんですけど、全然行かなくなりました。何がそんなに良くて旅行してたんだろうって思い返してみたら、やっぱり景色とか、温泉、海…そういうのが全部、今日常の中で満たされています。日々のお仕事は忙しいですが、生活の中に癒しの瞬間があるから頑張れます。朝起きて入る温泉、ベランダで朝日を見ながら飲む珈琲、海と太陽と、そこから始まる朝で。仕事から帰れば、また温泉とサウナで疲れをとって、ベランダで星を眺めながらワインを飲んで、頑張ってます。

理想的な移住生活ですね～^^

では逆に、移住生活において困ったこと等はありましたか？

ひとつ、すごく困ったことがありました！稻取から稻取への引っ越ししかできないことです！当時はまだ知り合いがそんなに多くなかったので、引っ越し業者に問い合わせるしかなく、問い合わせたところ軒並み断られました。稻取に営業所がある引っ越し屋さんがないから引っ越し先が2,3キロだと負け負ってくれなかつたんです。何とか知り合いに手伝ってもらい引っ越しはできましたが大変でした（笑）移住したては何もわからないし、田舎はネットに出ていない情報が多いから大変かもしれません。新生活準備は田舎のネットワークがないとちょっと大変ですね。

地元の人とのネットワークをつくるコツはあったりしますか？

やっぱり年月かと思います。私の場合は、お店を始めるにあたって無数のネットワークが出来上がりました。旅館に勤めるだけでは関わることのできなかつた方とも繋がりができました。何かをゼロから作り上げることでできる繋がりは確実にあると思います。

これから移住を検討されている方に  
一言お願いします。

とりあえず来てみよう！！  
ダメなら戻ればいい！！

ぜひ一度「おばあちゃんち」に足を運んでみて  
くださいね^ ^



東伊豆で  
人生2倍楽しみましょう！



2022年12月発行